

## 平成26年度新宿区外部評価委員会第1部会 第11回会議要旨

### <開催日>

平成26年9月4日（木）

### <場所>

本庁舎6階 第3委員会室

### <出席者>

外部評価委員（4名）

加藤部会長、野澤委員、福井委員、藤野委員

事務局（3名）

針谷総合政策部長、中山行政管理課長、三枝主査

### <開会>

#### 【部会長】

平成26年度第11回新宿区外部評価委員会第1部会を開会します。

今回も、前回に引き続き今年度の計画事業の外部評価に係る部会の意見を取りまとめていきます。取りまとめの方法等は前回と同様です。

議事に入る前に、事務局から報告があるとのこと。

事務局お願いします。

#### 【事務局】

はい。

計画事業50「ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進」について、前回部会長から出されたご質問への回答です。

「事業の目標・指標の2『容器包装プラスチックの回収量』について、平成24年度の1,741 tから27年度には1,673 tと、年を追うごとに減少しています。ゴミの減量とリサイクルの推進の観点からは、年を追うごとに回収量が増えるほうが良いように思えますが、減少するのはどのような理由があるのでしょうか。」とのご質問に対し、「容器包装プラスチックの資源回収は、プラマークのついている製品を対象としており、商品の包装物や容器、スーパーやコンビニ等のレジ袋などが主に回収されています。区では、3R推進を図る中で、レジ袋の辞退やマイバック・マイボトルの使用など環境に配慮した行動の奨励なども行っており、区民の3Rへの意識や実践が浸透していくことで、資源として回収する容器包装プラスチックは減少していくと考えています。区政モニターアンケートにおいても、実際に行っている3R活動の『買い物の際レジ袋を断る』の割合が平成24年度は49.6%、25年度は55.0%と着実に伸びている状況

です。」との回答です。また、「平成25年度の目標値『1,707 t』は、どのような根拠で設定したのでしょうか。また、目標を達成できなかったのはどのような理由によるものですか。達成できなかったことについて、どれほどの意味（どのような影響）があるのでしょうか。」とのご質問に対し、「容器包装プラスチックの回収実績は、平成20年度の区全域回収開始から毎年度減少しています。25年度の目標値についても計画初年度である24年度の回収量予定量から約2%減少するとの見込みで設定しました。目標未達成の理由としては、3Rの推進によりレジ袋等の排出が減少したことや、食品等の汚れが取れないことで燃やすごみに排出されているなどが考えられます。燃やすごみの増加要因ともなり得る容器包装プラスチックを、できる限り資源として活用できるよう、普及啓発事業を推進していく必要があります。」との回答です。

説明は以上です。ご審議のほどよろしく申し上げます。

**【部会長】**

ありがとうございました。

意見ををお願いします。

**【委員】**

回収量が多いと良いのか、少ないと良いのかは難しいですね。

**【委員】**

現在の指標では、多いほうが良くない。

**【委員】**

少ないほうがごみが減りますから。

**【部会長】**

ごみの内容が時代によって変わってきているので、そのことをきちんと見据えて目標値を設定しなければいけません。そこが難しいのでしょうか。

**【委員】**

判断が難しい。

**【部会長】**

はい。

ですから、意見を付すのであれば、「達成度が低い」という内部評価は適当だが、今後目標値を設定する場合には、3Rの推進状況やごみの排出内容を見据えた上で慎重に設定する必要があるといった内容になるのでしょうか。要するに、ごみの中身のことが分からないと目標値が設定できないということです。

**【委員】**

そうですね。

**【部会長】**

プラスチックが減っているのはすごく良いことなのであり、そのことをきちんと踏まえて目標値を設定しているのですが、区民側の動きや3Rの関係などもあるので、非常に目標値が設定しにくい状況だと思います。そういう意味では、ごみの排出の中身について十分予測した上

で目標水準を設定すべきだと思います。

【委員】

資源回収の量は、少なくなるよりは多くなるほうが良いのではないかと思うのですが違うのでしょうか。そうしないと、全部燃やすごみになってしまうでしょう。

【委員】

両方考えられると思います。

【委員】

可燃ごみが増えているのに資源ごみが減るのは問題です。両方減らなければいけない。

【委員】

資源ごみというのだから、資源になるごみですよ。その回収量が減るということは、資源にならないものが増えてしまうということでしょう。資源にするものは多いほうが良いのではないのでしょうか。

【委員】

もちろんそうなのですが、燃やすごみも減ればごみ全体が少なくなりますよね。

【委員】

ごみの回収量全体が減るのが一番良いことです。

【部会長】

難しいですね。

例えば、プラスチック容器に入っていないものを購入するなど、買物をする時点で考えられることもありますから、単に資源ごみは増えたほうが良いということではないと思います。

【委員】

そうですね。

買わなければプラスチックごみも燃やすごみも増えません。ごみ発生抑制にはそういう面もあると思います。

【部会長】

根本的にはそうですね。

【委員】

実際にはごみの総量を減らすのは難しいと思います。

だから、資源回収はどんどんしなければいけないと思います。

【委員】

スーパーマーケットに返すといった手法も考えられるのでは。

【委員】

一種のリサイクルですね。

【委員】

いずれにせよ、資源回収を徹底して、資源ごみの回収が増えたほうが良いように思います。少なくなるほうが良いように捉えられてしまう懸念もあるでしょう。

【委員】

どこで境界線を引くのかは、すごく難しいし、区民の認識もいろいろあると思います。

【委員】

究極的には、ゼロに限りなく近いほうが良いということなののでしょうか。

【委員】

そうですね。

両方ゼロになれば良いのではないですか。

【委員】

でも、それだと資源回収率もゼロになってしまいますよね。

【委員】

燃やすごみもゼロならば良いのではないのでしょうか。

【委員】

いや、資源ごみが限りなくゼロに近いほうが良いというのはおかしいでしょう。

【委員】

種類によらず、元々ごみになるようなものを作ったり買ったりしなければそうなりますよね。

【委員】

ですから、それは難しいでしょう。

【部会長】

さて、どうしましょう。

回答にある「区民の3Rへの意識や実践が浸透していくことで、資源として回収する容器包装プラスチックは減少していくと考えています。」という部分については理解できますよね。

【委員】

そうですね。

【部会長】

二つ目の回答についても「3Rの推進によりレジ袋等の排出が減少したこと」というのは良いですね。一方で、「食品等の汚れが取れないことで燃やすごみに排出されている」というのは問題ですね。

【委員】

燃やせるのだから良いのだという意識もあるように思います。

【委員】

容器包装プラスチック回収量が減るというのは、3Rのどれに当たるのでしょうか。リサイクルであれば回収量は増えるように思うのですが。

【部会長】

レジ袋の辞退やマイバッグ・マイボトル使用の普及なども含まれているのですから、3Rのどれと一くくりにはいえないのではありませんか。

【委員】

例えばマイボトルを持ってくることでペットボトルの回収量が1個減るのは良いですよ。

【部会長】

回収すべき量が減っているということですよ。

【委員】

確かに、3Rやごみ発生抑制の意識から減ってくるのではあれば良いと思いますが、この指標では先ほどの汚れが取れないような場合でも良いようにみえてしまいます。

【委員】

でも、3Rで減ったのかを判断することは難しいですよ。

【部会長】

難しいと思います。

だからこそ、ごみの排出の中身について十分予測した上で目標水準を設定すべきと意見してはどうかと思います。

【委員】

そうですね。

【委員】

でも、限りなくゼロに近づけることを目標にするというのは信じられません。

【委員】

資源ごみはスーパーマーケットなどで回収していますよね。

【委員】

結果的に家庭のごみが減るから、新宿区の回収するごみの総量が減る。そうすると容器包装プラスチックも減っていく。

【委員】

コンビニにもペットボトル用のごみ箱がありますね。

【委員】

ただ、あれは家庭用のごみを入れてはいけませんよね。

【委員】

そうですね。コンビニも困っているのか、ごみ箱を店内に設置しているところがあります。

【委員】

通りすがりに入れていってしまう人がいますからね。

【委員】

そういったモラル面での問題もありますね。

【委員】

むしろ、コンビニとの連携やコンビニへの助成により、家庭ごみを含めた資源ごみの回収を奨励することも検討できるかもしれません。

【委員】

いずれにせよ、目標設定をもう少し明確にしないと評価できないように思います。

【部会長】

そうですね。

【委員】

区も、資源ごみの回収には非常に苦労しているようです。

【部会長】

3R推進を図る中で想定すべきごみの量と、事業者で回収すべきごみの量の二つの面があるから、その中身が分かるように目標水準を設定してほしいという意見にしましょうか。

【委員】

個人商店だと、店のごみを家庭用として出しているところもあると思います。費用が掛かりませんかからね。

【委員】

その辺りを徹底しなければいけませんね。

【委員】

一般の区民の中にも、資源回収のためにわざわざ資源ごみをためて出しているという感覚があるように思います。そういった意識にも改善が必要です。

【部会長】

そうですね。

【委員】

この指標は、3Rや事業者、ごみ発生抑制など様々な取組の結果として設定されているのでしよう。

【部会長】

全部つながっているということですね。

【事務局】

参考までに説明しますと、新宿区の人口は少しずつ増えている一方、ごみの発生量はどんどん減ってきています。そういった意味で、ごみの減量とリサイクルの推進についての目標は、減らしていく方向で設定しています。なので、確かに容器包装プラスチックの回収量の目標設定についても下げる設定になっています。達成率も高くなってはいるのですが、実態としては燃やすごみとして出してしまっている状況があります。それは、所管も課題として挙げています。

そうすると、部会長の意見のとおり、下げていくという目標をどのような形で達成したのかまでみないと、少なくなって良いのか悪いのかというのは分かりません。

また、資源ごみは増えたほうが良いのではないかという意見がありましたが、例えば以前と比べ過剰包装がかなり減ってきましたので、それによりごみの発生も減っています。こういった、資源ごみを増やすより、そもそも資源ごみが出ないようにする運動も重要です。

ご指摘のとおり、資源ごみの回収量が減少する要因には良い面も悪い面もありますが、現在の指標はどちらの要因がどのように回収量の減少につながっているのか明確になっていないの

で、考え方を明確にする必要がある旨、意見を付すことではいかがでしょうか。

**【部会長】**

そうですね。

おっしゃるとおり二面性が盛り込まれた目標設定になっていますので、そのような意見を付すことで良いかと思えます。

いかがでしょうか。

<異議なし>

**【部会長】**

では、50については以上とします。

次に、58「新宿りっぱな街路樹運動」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「目的（目標水準）の達成度」に「目標設定は、路線数でなく延長でも良いのではないか。300kmの区道のうちどの程度かが明確になる。例えば『1路線（〇km）』などとしては」との意見です。

それから、「総合評価」に、「道路の無電柱化や都市計画道路整備とリンクした事業（これらの道路整備事業に合わせて実施する。）という位置づけが分かりにくい。」「新宿区の全体的な完成図（予想図）を作成してみたいかがか。」「事業名は区全体での運動を表しているようにみえるが、実態は三栄通り、補助72号線及び新宿通りのみの事業となっている。ほかの地域でも進めてほしい。」といった意見が、「その他の意見」に「グリーンシンボルロード整備路線の指定の基準はあるのか。」「区全体の計画がほしい。」「『新宿りっぱな街路樹運動』とは何なのか、事業名を見ても区民は分からない。」といった意見が付されています。

意見ををお願いします。

**【委員】**

対象となる路線を決めるための基準はあるのでしょうか。

**【部会長】**

無電柱化等と関連があったように思います。

**【事務局】**

本事業は、区道の街路樹に関するものです。区道といっても狭いものから広いものまでありますが、街路樹を植えることができるのは、一定程度の幅員があるところに限られます。そのため、区道の全延長に対する実績から達成率を図ろうとすると、かなり厳しい数字になってしまいます。みどり土木部としても、一定の幅員を持った路線を中心に、可能なところには街路樹を植えていこうという事業にしています。そういったところを踏まえながらご検討ください。

**【部会長】**

区道の中でも一定の幅員がないとできないということですね。そうすると、300kmの区道のうちどの程度かではなく、対象の全延長のどれくらいかというほうが良いでしょうか。例えば、三栄通り全体が対象なのか、再開発のところだけなのか等が明確になっていたほうが分か

りやすくなります。

**【事務局】**

例えば、「三栄通り（何キロ）、補助72号線（何キロ）」などとしたほうが分かりやすいということですね。

**【部会長】**

そういうことです。

それから、街路樹を植えることができるのは、一定程度の幅員があるところに限られることをどこかに記載すると分かりやすくなると思います。

**【委員】**

「一定程度の広さを持った道路については、りっぱな街路樹運動を進めていきます。」といったことが書いてあると良かったですね。

**【部会長】**

そうですね。

また、区全体の計画というのが何かあると思いますから、先ほどの意見と合わせて、区全体の区道の整備計画の中で、一定程度の広さを持った道路について、りっぱな街路樹運動を進める事業であることを記載すると良いと思います。

**【委員】**

そうすると、三栄通りの全延長何キロのうちの何キロが終わったということが分かるということですか。

**【部会長】**

はい。

この事業についてはそのようなまとめ方でよろしいでしょうか。

<異議なし>

次に、61「道路のバリアフリー化」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「総合評価」に「計画どおり事業が実現している。新宿駅周辺地区の2路線の路線名を記述したほうが分かりやすいのではないか。」「視覚障害者等この事業を本当に必要としている方に意見を聞いてみたらと思う。」「『サービスの負担と担い手』に、『利用者等の意見を聞きながら進めており』とあるが、どのような方にどのような場で意見を聞いたのかを記載してはどうか。」「事業は終了したが、維持管理は必要である。」といった意見が付されています。

また、「その他の意見」に「事業名からは新宿区全体でやるべき事という印象を受けるが、実態は一部の路線についてで、既に完了している。事業名と事業内容のギャップを、区民は理解できないのでは。」との意見です。

事業目的に「『交通バリアフリー基本構想』の重点整備地区において」とありますから、全体の計画はあるのでしょうか。その中の特定経路又は準特定経路についてバリアフリー整備を行う事業のようですね。



【委員】

バリアフリー化しなければならない道路というのは確認されているのでしょうか。

【委員】

バリアフリー化は全ての道路に対して進めていくべきだと思うのですが。

【部会長】

いずれはそうですね。

【委員】

事業名をみると区全体をいつているように感じるのに、事業内容が2路線なのはいかがなものかと思います。

【委員】

先ほどの事業と同様、全体で何路線あって、そのうちの何路線が既に終わっていて、平成25年度に何路線が終わったのかを示さないと、今年度の目標は達成しただけでは十分とはいえないと思います。

【部会長】

ただ、この事業は重点地区に位置付けられている区道のバリアフリー化であり、実行計画の中に路線名も明示されていますので、おそらくこれが全体像なのでしょう。

一方で、そうすると意見のとおり事業の内容に比べて事業名が大きい印象を受けます。

【委員】

対象となっている路線より、もっと必要などころがあるようにも思うのですが。

【部会長】

「この事業を本当に必要としている方に意見を聞いてみたら」というところですね。

事業完了後の維持管理についての意見と合わせて、「交通バリアフリー基本計画の重点整備地区を優先的に整備しているが、将来に向けて区全体で取り組むべき課題である。また、事業完了後の維持管理体制についても検討をいただきたい。」という趣旨にまとめるのはいかがでしょうか。所管としても「新たな課題」や「取組方針」欄に、今後も道路の維持補修事業等の中で必要に応じて整備をしていく旨を記載していますから、これを支持するような内容となりますね。

<異議なし>

それから、本事業については第一次実行計画から継続されてきているものなので、全体での進捗状況も示せると良いと思います。第一次実行計画ではどのような路線をやって、第二次実行計画ではどのような路線をやったのか等の記載があると、新宿区全体でこれだけ終わったのだということが分かるので、良いのではないのでしょうか。

<異議なし>

次に、65「都市計画道路等の整備」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「総合評価」に「ヒアリングで、目標の実現に向けて調整作業が進められていることは確認さ

れたが、目標・指標が『整備』や『調整』では区民には分かりにくい。例えば、全権利者数のうち何パーセントの調整ができた等の指標は設定できないものか。」「交渉中の事業であり、時間は掛かると思うが、円滑に進む事を望む。」「バリアフリー化を実施するに当たっては、区、利用者、有識者、区民代表、地域関係者などによる協議会等を作り、多角的に意見や要望を出し合いながら、理想的なものを作り上げていくのが良いと思う。」「補助72号線と百人町の道路整備である。時間の掛かる事業なので、的確に進めてほしい。」といった意見が出されています。

また、「その他の意見」に「みどり土木部道路課の計画事業のヒアリングについて、事業説明の際には、以下の2点に配慮してほしいと感じた。①事業のエリア・場所等を示す図面等の配布があると分かりやすい。②（事業の体系的な位置付けとは別に）部署ごとの施策（計画）の体系の中での各事業（経常・計画事業）の位置付けの説明があると分かりやすい（例えば、道路のバリアフリー化、無電柱化、街路樹整備については、重点的に整備している路線として重なった事業が実施されている。最初にそのような説明があってから、事業ごとの説明があると合理的で理解もしやすいと感じた。）。」「目標設定について、もう少し分かりやすく記述してほしい。」「『補助72号線と百人町の道路整備』に事業名を変更した方が分かりやすい。」といった意見が出されています。

補足等があればお願いします。

**【委員】**

事業名については、副題でも良いので内容の分かるものを付けてほしいです。

**【委員】**

この事業に限りませんよね。

**【委員】**

はい。多くの事業でそう感じます。

例えばこの事業では、事業名だけみても、道路をバリアフリー化していくのは当たり前としか感じません。どこでバリアフリー化を進めているのかまで分かるようにしてほしい。

新聞の見出しのように見て分かるものにしてもらいたいです。

**【委員】**

誰が見ても分かるようにということですね。

**【部会長】**

現状では、内部評価を読まないと分かりませんからね。

外部評価実施結果報告書では事業内容等の確認はできるのでしょうか。

**【事務局】**

評価区分ごとの内部評価結果は載せますが、事業内容等については内部評価を確認する必要があります。

**【部会長】**

実行計画、内部評価、外部評価とそれぞれ冊子が分かれるから、全体を把握するのは難しい

ですね。そうすると、意見のとおり事業名から内容が分かるほうが良い気がします。

【委員】

大きな事業名のほかに、副題を付ける形が良いでしょうか。

【部会長】

そうですね。

例えば枝事業名等を入れる。

ただ、この事業で意見するというよりは、区の事業全般について、総括的なところで意見すべき内容と考えられます。

今後の、全体会のときに、他部会に対して提案することで良いでしょうか。

<異議なし>

それから、目標設定への意見が複数出ていますが、調整中の事業の目標を設定するのは難しいようにも思います。地権者の何分の1などというのはかなり書きにくいでしょう。ただ、調整中というだけでは分かりにくいのは確かです。区の頑張りも伝わってきません。

本来、用地取得は何%ぐらいできているのかなどを示す目標水準があっても良いように思います。最終目標は当然100%になりますが、年度単位での設定は難しいのでしょうか。

【委員】

できれば知りたいです。

【委員】

現在の指標では評価できませんからね。

【部会長】

そうですね。

では、「総合評価」に、目標・指標が設定しにくいことは良く分かるが、「調整」等だけでは区民には伝わりにくいので、もう少し具体的なものを検討してほしい旨意見しましょう。

<異議なし>

それから、複数の事業で重点的に整備している路線が重なった際にはそのことを説明してほしいというのは非常に重要な視点だと思います。

【委員】

説明が縦割りになってしまっていますよね。

【部会長】

そうですね。事業ごとに縦割りで。

【委員】

各事業の理解はできますが、つながっていることが分からない。

それを知る手立ては、自分で勉強するしかないのが現状です。それにはすごく時間が掛かるから、説明がほしいですね。

【部会長】

では、道路のバリアフリー、無電柱化、街路樹整備等、重点的に整備する路線が重なって

る事業については、事業間の連携や重層的に展開している路線などについても説明してほしいと意見しましょうか。

**【委員】**

そういうことが知りたいという思いを前面に出して意見したいです。

**【部会長】**

そうですね。

**【委員】**

この問題は路線に限らず、他部会も含めた多くの事業でいえると思いますから、この事業でいうより全体でいったほうが良いかもしれません。

**【部会長】**

そうですね。

ただ、第一部会の事業で特に感じたのは道路だったので、この事業でいっても良いようにも思えます。

**【委員】**

評価だけでなく、工事なども一括でやれば良いところを事業ごとに行って、時間や経費が掛かっているように思います。

**【委員】**

あるかもしれません。

**【委員】**

そうすると、そもそも事業をこんなに分けないといけないのか、根本的な部分から疑問に感じてきます。

**【事務局】**

所管は、評価する上で、事業について分かりやすく説明する責任は当然として、他事業との関連等も当然必要になります。本事業であれば都市計画との関連なども説明があってしかるべきなので、全体会で、評価する上では事業や部をまたがる事業も含めた説明が必要である旨ご提案をいただければと思います。

**【部会長】**

分かりました。

いかがでしょうか。

<異議なし>

次に、43「道路・公園の防災性の向上」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「目的（目標水準）の達成度」に、「目標設定については、公園の園数とともに、災害用トイレ、多目的貯水槽等の設置数を示すと事業の成果がみえて分かりやすいのではないか。」との意見です。内部評価には、例えば指標4として「災害用トイレを設置した公園数」を設定していますが、園数だけでなく設置数も示してはどうかということですね。

それから、「総合評価」に「事業対象の道路・公園と、広域避難場所等との関係性の説明があると分かりやすい。」「地球の温暖化に伴い、区の割当てだけでなく全体的に判断できなければこれからの災害には備えられないと思う。」「公園に設置されている災害用仮設トイレについて、災害時だけでなく、使用方法（曜日や時間など）を決めて平時から体験使用ができるようにしてほしい。実際に使用させることで様々な方にモニターになってもらい、改善の余地を探りたい。」「必ず起きる災害に備えて、準備は重要です。特に、最近増えているゲリラ豪雨に対応できる対策が不可欠です。」という意見です。

また、「その他の意見」に「個別の記述は良いのだが、区全体のマップが見えない。」という意見です。

**【委員】**

災害用トイレは視察のときに体験しましたね。

**【委員】**

そうですね。

それを、ほかの区民も体験しておくべきだと思います。

また、あときは区の職員が準備してくれましたが、本来は区民がやらなければいけないことだと思います。その認識を持っていない区民も多いと思うので、防災訓練以外に、災害トイレを実際に使用できる機会を用意できないかという提案です。

**【部会長】**

意見するならば「その他の意見」になるでしょうか。

**【委員】**

そうですね。

**【部会長】**

それから、「区の割当てだけでなく全体的に判断」や「区全体のマップが見えない」「広域避難場所等との関係性の説明」など、区全体の取組についての意見が複数出されています。指標の設定についても似たような意見ですね。防災を考えるときには非常に重要な視点なので、意見したいと思います。いかがでしょうか。

<異議なし>

次に、53「清潔できれいなトイレづくり」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「総合評価」に「着実に事業を実施しているようだが、事業で整備した公園名等の記述が内部評価にあると分かりやすい。」「全てのトイレをバリアフリー対応にすることは難しいと思うが、高齢化に伴いますます必要になってくる。」「暗い・臭い・汚い・怖い・壊れている（5K）などの問題点や悩みを一つずつ解消してほしい。利用者から、使用中何となく落ち着かないとの意見を聞く。安心して利用できるのも公衆トイレの役割ではないか。」「公園トイレや公衆トイレは昔はとてもひどかった。区民の道德レベルも向上したと思う。」という意見です。

**【事務局】**

「事業で整備した公園名等の記述が内部評価にあると分かりやすい。」とのご意見ですが、本事業の内部評価では、以前の外部評価の意見を踏まえ、本事業で整備するトイレのほかに、他の事業で整備しているトイレについても併せて記載しています。具体的には、本事業で整備するのは3か所、ほかの事業で3か所、計6か所となっていますので、本事業で実施している3か所についてという理解で良いでしょうか。

**【部会長】**

そうですね。他の事業の話は置いておくにしても、この事業で対象とした公園については記述があったほうが良いと思います。

<異議なし>

利用者のモラルというのは高まっているのでしょうか。

**【委員】**

昔よりは良くなったと思います。昔は使いたくても使えないようなトイレが多くありました。

**【部会長】**

なるほど。

一方で、「協働の視点による評価」には「いまだに快適でないトイレが多い。バリアフリーも良いがもう少しソフト面、日常の清掃等についても考えてほしい。住宅地の公園は区民のためよりタクシーの運転手やセールスマンなどの使用が多い。より良い環境にするためにも、例えば有料化してもよいのでは。」とか、「その他の意見」に「清掃ルートと清掃完了時間・担当者の認印など各トイレに記録を残し、利用者に清潔なトイレを維持する意識を啓発し、汚さないよう協力してもらえるように発信してほしい。」といった意見も出されています。

**【委員】**

私もそのように思います。

**【部会長】**

それから、「その他の意見」には「使い勝手を向上させると逆の効果も現れ、たちごっことなる。維持管理も大変ではないか。『清潔できれいなトイレづくり』という当たり前のことを事業名にしてもよく分からない。」とのご意見です。再度事業名についてですね。

**【委員】**

こだわっています。

**【部会長】**

では、着実に事業を推進しているようだが、いまだに管理体制の整っていないトイレが多く見られる。清掃体制や有料化にするなどの検討をお願いしたいといった趣旨の意見を付しましょうか。

<異議なし>

**【委員】**

確かに、タクシードライバーなどのためのトイレになっていますよね。

【部会長】

そうですね。

【委員】

悪いことではないと思います。

【委員】

そうですね。

【部会長】

なければ困ってしまいますよね。

【部会長】

事業名についてはどうでしょうか。

【委員】

清潔できれいなトイレを作るのは当たり前の話に思えます。

【部会長】

確かにそうですね。分かりました。

【委員】

固い事業名と柔らかい事業名がありますよね。

【部会長】

そうですね。

【委員】

だから分かりにくい。

【委員】

行政というのはこういう事業名が好きなのでしょうか。

【委員】

誰にでも受けが良くないといけないのでしょうか。

【部会長】

そうですね。

【委員】

分かりにくさも感じます。

【部会長】

確かに、漠然としている印象を受けます。

歩道橋の事業でも議論になりましたよね。

ほかになければ、この事業については以上とします。

<異議なし>

次に、57「区民ふれあいの森の整備」です。

「適当でない」と付いた項目はありません。

「総合評価」に「着実に事業が進捗している。公園サポーター等の活用による今後の管理運

営方策に期待したい。」「環境が良くなり近隣住民としてはとても有り難いことである。」  
「おとめ山公園の整備に期待している。公園管理棟付近に資料館・展示室などの建設計画はあるか。公園サポーター、地域住民、小・中学生などの意見を聞き、遊びと学びを取り入れた運営を期待したい。来園者増強につながる四季折々の催事にも力を入れてほしい。」「おとめ山公園は新宿区の貴重な財産である。工事完了後の維持管理が重要だと思う。」といった意見です。

では、着実に事業が進捗していると評価する。公園サポーター等の活用による今後の管理運営方策に期待したい。特に、おとめ山公園については、地域住民や小中学生の意見を聞きながら、催事や運営方針について検討をしてほしいといった形にまとめましょうか。

<異議なし>

【委員】

あそこは区内でも珍しい広い公園なので、資料館や展示室を作るなど、勉強の場にも良いかと思います。

【部会長】

そうですね。貴重な財産です。

ほかには、「その他の意見」に「都心の真ん中でもみどりの多い公園ができれば良い見本となります。ますますこのような公園が増えていけば良いと思います。」「事業名を『区民ふれあいの森の整備（おとめ山公園）』としてはいかがか。」というご意見です。

【委員】

また事業名についてなのですが、おとめ山公園の事業なのだから、おとめ山公園と書けば良いのではないのでしょうか。

【部会長】

そうですね。それは分かりやすいですね。

【委員】

分かりやすい事業名にしようというサービス精神に欠けているように感じます。

【部会長】

事業名については本当に多くに当てはまりますね。

【委員】

みんなそうだ。

【委員】

確かに全部そう思います。

【委員】

カッコを付けるなどの工夫で解決できます。

【部会長】

そうですね。

【委員】



事業名は長くなりますが、はっきりと書いたほうが良いですね。

【部会長】

事業名については一括して全体部会で調整しますから、そちらで合わせて検討しましょう。

<異議なし>

ほかにはよろしいでしょうか。

では、本日の取りまとめは以上とします。次回も引き続き計画事業の取りまとめを行いますのでよろしくお願いいたします。

閉会します。お疲れさまでした。

<閉会>